

# ぼけもん

218 ブティック



## 今月の表紙

### 『激闘!カブト虫相撲大会』

大崎の夏の風物詩とも言える本大会には町内外から参加があります。カブト虫の闘いに固唾を飲んで見守る子どもたちとその保護者。カブト虫の雄々しい姿は見る者を魅了します!また来年の大会がとても楽しみです!

## 薩摩郷句 兼題「遊つ」

日の一日中遊つ疲れくた老爺骨  
(唱) 年齢すば感じい 此ん頃れしなつ

上窪サエ子

遊つかて親ん遺産ぬうつ潰つ  
(唱) 飲む打つ買うで 病気も背負つ

二見愚楽満

遊つ疲れ夕飯の途中で舟を漕つ  
(唱) どもこも眠し ばつたいならじ

満石江吟

若者しや都会ち遊だ畑が多け田舎  
(唱) 荒れ放題荒れた 勿体無か畑

北村虎王

郷句作いが呆え胸を苛ねつ遊はせつ  
(唱) 脳トレじやろち 字遊ぶ頑張つ

諸木小春

## 大崎短歌会 兼題「雨」

雨止まず散歩のできぬ犬の口  
もの言いたげに吾を見上げる

坂元つる子

貴婦人を思わす苜蓿長雨に  
うたれし花の姿痛まし

穂園芳江

降るならばうんと降れふれ島津雨  
今日歌の師の誕生日なり

宮原のり

応援の安倍首相のポスターが  
若竹被り雨に濡れいる

児玉チヅ

雨よ降れやつてられない嫌なこと  
川へ流して大海原へ

高瀬睦子

## 大崎俳句会

川流れ枝垂れ桜の並木道

溝口 稔

うたた寝や突如鳴り出す梅雨の雷

内村美恵子

合歓咲くや縄文土器に耳飾

宮下 のし

時の日や止まりし時計の電池替ゆ

三浦倫子

故郷の島の見え来て船涼し

折田スズ

カラフルに洗濯物や梅雨晴間

坂元つる子

葎より黄菅一本伸びあがり

宮脇洋子

## 人権啓発シリーズ

### ～障がい者の人権について～

【障がいのある人を特別視せず、

自然体で声かけやふれあいを】

障がいのある人に対して「特別に接しないと…」と身構えていませんか?

あまりに意識することで、かえって自然にふれあう機会を失っているのかもしれませんが。障がいのある人も、ない人も、同じ人間です。それぞれに個性があり、みんな違うのは当然のこと。見えないバリアを取り払い、その人が持つ魅力に目を向けることで、あたたかいふれあいが生まれてきます。